

- 2014年度 日本草地学会宮崎大会 第60回総会・第70回発表会プログラム -

会場：宮崎観光ホテル（宮崎県宮崎市松山1-1-1）

日程：2014年3月30日（日）～ 4月2日（水）

大会本部	大会期間中（3月31日 8:00～4月2日 17:00）		福寿（東館1階）
受付	3月31日（月）	8:00～	ロビー（東館2階）
	4月1日（火）	8:00～	ロビー（東館2階）
	4月2日（水）	8:30～	ロビー（東館2階）
賛助会員展示	大会期間中（3月31日 8:00～4月2日 17:00）		ロビー（東館2階）
<hr/>			
発表会	優秀若手発表賞発表	4月1日（火） 10:45～12:00	A会場
	一般口頭発表	4月1日（火） 8:30～10:30	B～E会場
		14:00～14:45	C～D会場
		4月2日（水） 13:00～14:45	B～E会場
	ポスター展示	大会期間中（3月31日 8:00～4月2日 12:00）	ポスター発表会場
	ポスター発表	偶数番号 コアタイム 4月1日（火） 13:00～14:00	ポスター発表会場
		奇数番号 コアタイム 4月2日（水） 9:00～10:00	ポスター発表会場
	ポスター撤去	4月2日（水） 12:00～13:00	ポスター発表会場
	シニア発表	4月1日（火） 8:30～10:45	A会場
<hr/>			
総会、学会賞授賞式、受賞講演	3月31日（月）	9:00～12:00	緋碧耀（東館3階）
60周年記念式典、記念シンポジウム	3月31日（月）	13:00～16:00	緋碧耀（東館3階）
特別企画シンポジウム	3月31日（月）	16:15～18:45	緋碧耀（東館3階）
懇親会	3月31日（月）	19:00～21:00	A会場
企画シンポジウム1（一般公開）	4月1日（火）	15:00～18:00	A会場
企画シンポジウム2	4月2日（水）	10:00～12:00	A会場
企画シンポジウム3	4月2日（水）	10:00～12:00	B会場
企画集会	4月2日（水）	10:00～12:00	C会場
小集会1	4月2日（水）	15:00～17:00	B会場
小集会2	4月2日（水）	15:00～17:00	C会場
<hr/>			
日本草地学会評議員会	3月30日（日）	14:30～17:30	ブリリアントホール （西館8階）
優秀若手発表賞審査委員会	4月1日（火）	13:00～14:00	A会場
和文誌・英文誌合同編集委員会	4月1日（火）	12:10～13:00	B会場
英文誌AE会議	4月1日（火）	13:00～14:00	B会場
企画委員会	4月2日（水）	12:10～13:00	B会場
草地学用語委員会	4月2日（水）	12:10～13:00	C会場
草地学教育委員会	4月2日（水）	12:10～13:00	D会場

A会場：東館3階 翠耀、B会場：東館2階 日向、C会場：東館2階 紅、D会場：東館2階 初雁、
E会場：東館2階 大虹、ポスター発表会場：東館3階 ロビー

- 日本草地学会 宮崎大会 日程 -

3月30日(日)			8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00		
	西館 8F	プリリアントホール	評議員会														

3月31日(月)			8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	
	東館 2F	ロビー	受付、賛助会員展示													
	東館 3F	緋碧耀	総会 授与式、受賞講演会				60周年記念式典 60周年記念シンポジウム			特別企画シンポジウム チベット-トランスヒマラヤ高山草原に おける放牧システムと生態系保全						
A会場	東館 3F	翠耀												懇親会		
ポスター 発表会場	東館 3F	ロビー	ポスター貼付、ポスター展示													

4月1日(火)			8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	
	東館 2F	ロビー	受付、賛助会員展示													
A会場	東館 3F	翠耀	シニア発表 S01-S07			優秀若手 発表 Y01-Y05		優秀若手 発表賞 審査委員会		企画シンポジウム1(一般公開) グローバル畜産確立に向けての優位技術の創成						
B会場	東館 2F	日向	口頭発表 101-108			和/英文誌 合同編集 委員会		英文誌 AE会議								
C会場	東館 2F	紅	口頭発表 201-208						口頭発表 209-211							
D会場	東館 2F	初雁	口頭発表 401-408						口頭発表 301-303							
E会場	東館 2F	大虹	501 - 502	口頭発表 601-606												
ポスター 発表会場	東館 3F	ロビー	ポスター展示					コア タイム 偶数		ポスター展示						

- 日本草地学会 宮崎大会 日程 -

4月2日(水)			8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	
	東館 2F	ロビー	受付、賛助会員展示													
A会場	東館 3F	翠耀	企画シンポジウム2 飼料作物のフザリウム系 かび毒の発生とその対策													
B会場	東館 2F	日向	企画シンポジウム3 飼料自給率向上のための国産飼料の 流通に関する現状と課題				企画 委員会	口頭発表 109-115		小集会1 日本において永年草地による草地酪 農の確立は可能か？						
C会場	東館 2F	紅	企画集会 公共牧場の活性化に向けて				草地学 用語 委員会	口頭発表 212-216		小集会2 放射性セシウム汚染の現状と 低減化に向けた取り組み						
D会場	東館 2F	初雁					草地学 教育 委員会	口頭発表 304-310								
E会場	東館 2F	大虹					口頭発表 607-611									
ポスター 発表会場	東館 3F	ロビー	ポスター 展示	コア タイム 奇数	ポスター展示		ポスター 撤去									

- 会場（宮崎観光ホテル）へのアクセス -

宮崎空港から

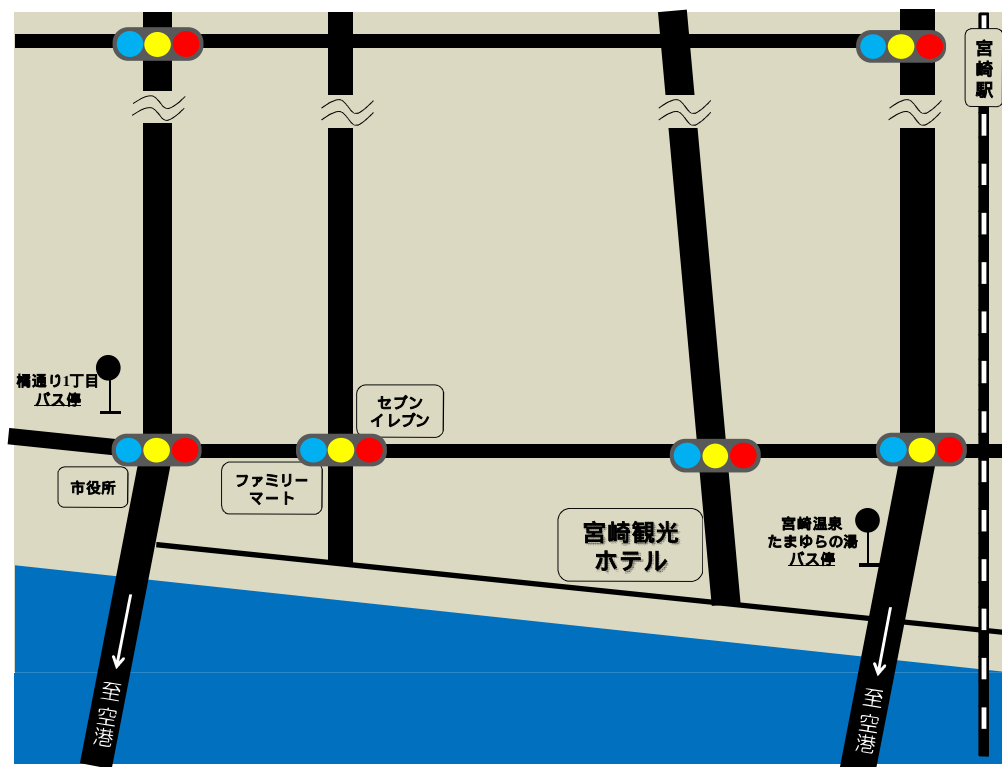
- 大淀大橋・橘通り方面宮崎駅行きに乗り、「宮崎温泉たまゆらの湯」で下車（所要時間約 17 分、¥370）、そこから徒歩 5 分（300m）。
- 橘通り方面宮崎駅行きに乗り、「橘通り 1 丁目」で下車（所要時間約 17 分、¥370）、そこから徒歩 10 分（750m）。
- タクシーで約 20 分（¥1,840～¥2,270）。

JR 宮崎駅から

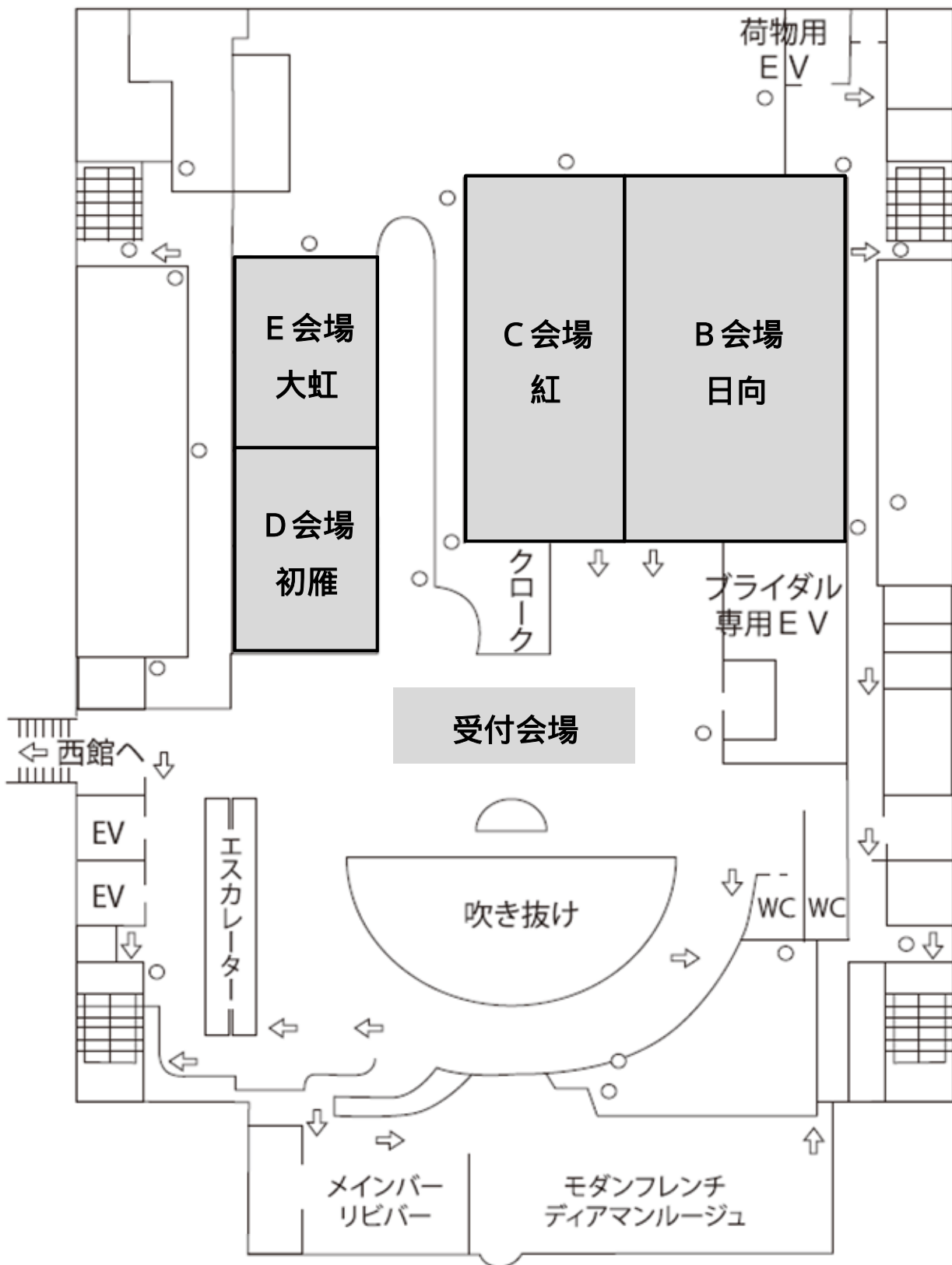
- 宮崎大学行き・宮交シティ行き（他多路線有り）に乗り、「橘通り 1 丁目」で下車（所要時間約 9 分、¥170）、そこから徒歩 10 分（750m）。
- 大淀大橋・橘通り方面南宮崎駅行きに乗り、「宮崎温泉たまゆらの湯」で下車（所要時間約 9 分、¥180）、そこから徒歩 5 分（300m）。
- タクシーで約 10 分（¥720～¥830）。

宮崎港より

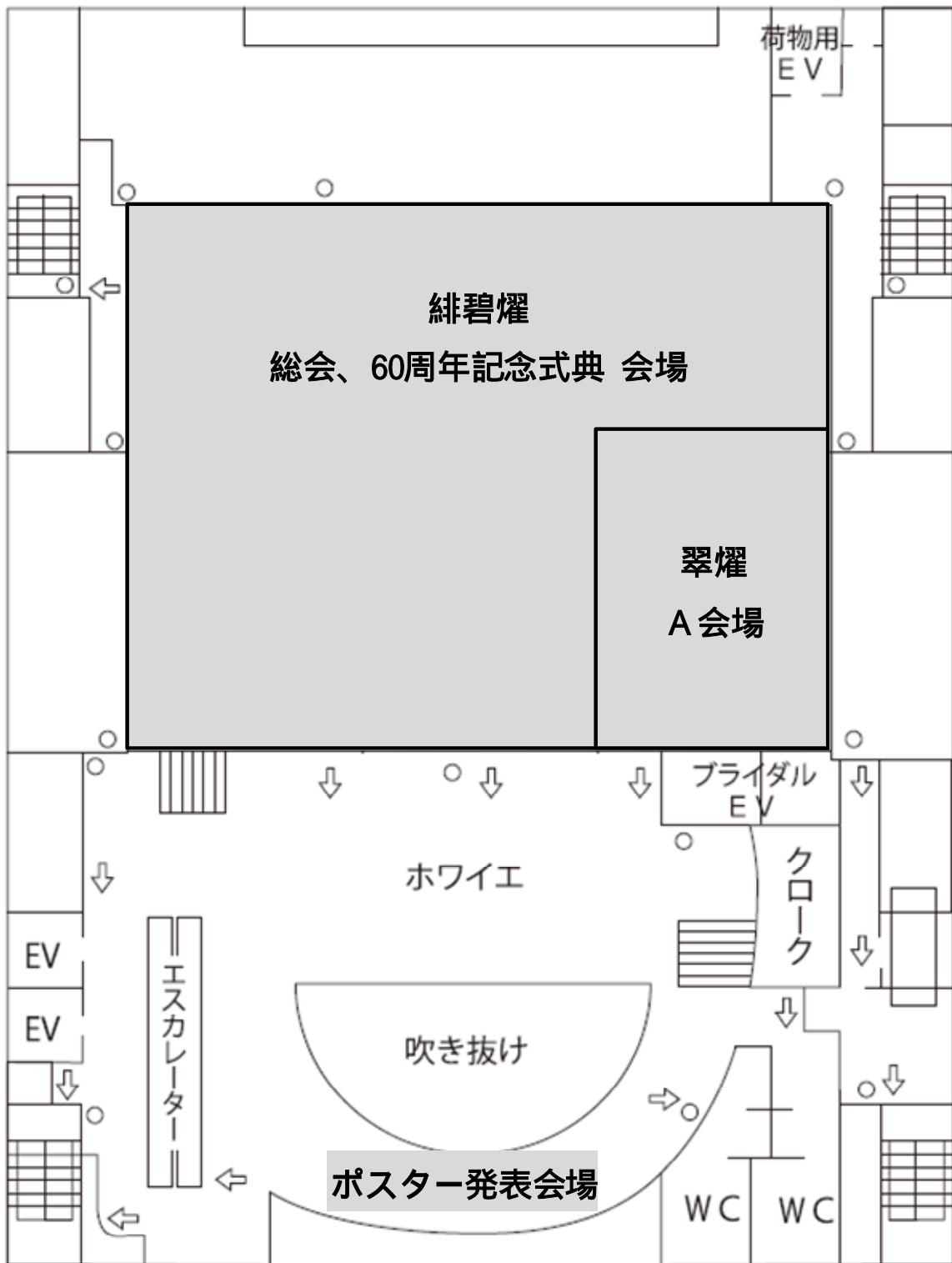
- 宮崎駅方面宮交シティ行きに乗り、「橘通り 1 丁目」で下車（所要時間約 10 分、¥300）、そこから徒歩 10 分（750m）。
- タクシーで約 10 分（¥1,200～¥1,390）。



- 会場案内図（東館 2階） -



- 会場案内図（東館 3階） -



60周年記念シンポジウムのご案内

日時：3月31日（月）、13:00 - 16:00

場所：東館3階 緋碧耀

基調講演

1. これからの草地畜産研究のあり方と展開方向 - 草地畜産の役割を積極的に拡大する -

寺田文典（九州沖縄農業研究センター）

生産者

2. コントラクターを核とした地域自給飼料生産システムの構築について

山下英雄（JA菊池七城コントラクター利用組合）

若手研究者

3. 草地学教育の再構築 - 現状と課題 -

八代田真人（岐阜大学）

特別企画シンポジウムのご案内

「チベット - トランスヒマラヤ高山草原における放牧システムと生態系保全」

日時：3月31日（月）、16:10 - 18:45

場所：東館3階 緋碧耀

企画者：長谷川信美（宮崎大学）

1. 中国青海省玉樹蔵族自治州における家畜生産

宋 仁徳（玉樹蔵族自治州ヤク総合試験場）

2. 中国青海省玉樹蔵族自治州における植物の種多様性

李 国梅（玉樹蔵族自治州草原研究所）

3. 中国青海省玉樹蔵族自治州における植生と土壌の変化

井戸田幸子（宮崎大学）

4. チベット高原野草放牧地におけるクチグロナキウサギの行動と食性

楊 家華（宮崎大学・青海大学）

5. 中国青海省玉樹蔵族自治州の牧畜経営

山本直之（宮崎大学）

6. ジャンムー・カシミール州における家畜生産と自然保護

R. Y. Naquash（ジャンムー・カシミール州ウラー保全管理局）

7. ジャンムー・カシミール州における少数民族の遊牧方式

木村李花子（東京農業大学・インド馬事文化研究所）

8. トランスヒマラヤ高山草原の同位体元素解析による環境変動評価

H. Schnyder（ミュンヘン工科大学）

9. トランスヒマラヤ高山草原の衛星画像解析による環境変動評価

多炭雅博（宮崎大学）

10. 総合討論

司会：平田昌彦（宮崎大学）

企画シンポジウム、企画集会、小集会のご案内

企画シンポジウム 1

「グローバル畜産確立に向けての優位技術の創成」(一般公開)

日時: 4月1日(火)、15:00 - 18:00

場所: A会場(東館3階 翠耀)

企画者: 石井康之・明石良(宮崎大学)

1. 宮崎県における自給粗飼料生産の研究
小畑 寿(宮崎県畜産試験場)
2. 生産コスト低減に向けての新規自給飼料生産の開発
石井康之(宮崎大学)
3. エコフィードの利用と肉質向上技術
高橋俊浩・入江正和(宮崎大学)
4. 肉用牛繁殖経営における生産性向上を目的とした取り組み
鍋西 久(宮崎県畜産試験場)
5. 感染症清浄化と畜産新生
乗峰潤三(宮崎大学)

企画シンポジウム 2

「飼料作物のフザリウム系かび毒の発生とその対策」

日時: 4月2日(水)、10:00 - 12:00

場所: A会場(東館3階 翠耀)

企画者: 月星隆雄(畜産草地研究所)

1. トウモロコシ赤かび病の概説と圃場でのかび毒濃度の変遷
岡部郁子(畜産草地研究所)
2. 北海道でのかび毒発生状況とその対策
湊 啓子(北海道立総合研究機構)

3. 九州でのかび毒発生状況とその対策
笹谷孝英（九州沖縄農業研究センター）
4. 自給飼料でのマイコトキシン汚染状況とその対策
平岡久明（農林水産消費安全技術センター）
5. トウモロコシ品種利用におけるかび毒抑制
魚住 順（東北農業研究センター）

企画シンポジウム 3

「飼料自給率向上のための国産飼料の流通に関する現状と課題」

日時：4月2日（水）、10:00 - 12:00

場所：B会場（東館2階 日向）

企画者：浦川修司（畜産草地研究所）

1. 飼料イネ等の国産粗飼料の広域流通の成立要因
藤森英樹（東北農業研究センター）
2. ロールベールサイレージの流通促進のための質量計測法
喜田環樹（畜産草地研究所）
3. ロールベールサイレージの流通促進のための迅速な水分測定手法
服部育男（九州沖縄農業研究センター）
4. 流通を促進するためのロールベールの品質管理技術と広域流通事例
川村淳也（三重県中央農業改良普及センター）
5. 国産飼料の流通実態調査からみた国産飼料流通の問題点と課題
恒川磯雄（畜産草地研究所）

企画集会

「公共牧場の活性化に向けて 九州地域の公共牧場の現状と課題」

日時：4月2日（水）、10:00 - 12:00

場所：C会場（東館2階 紅）

企画者：井出保行（畜産草地研究所）

1. 九州地域の公共牧場の現状と課題

（1）阿蘇地域の牧野組合の現状と今後の課題

木庭正光（熊本県阿蘇地域振興局農林部）

（2）長崎県吾妻岳牧野の現状と課題

深川 聡（長崎県農林技術開発センター）

2. 技術紹介

（1）傾斜放牧地のゾーニングと合理的草地管理

北川美弥（畜産草地研究所）

（2）ニホンジカによる牧草被害率の簡易推定法と被害対策への活用

塚田英晴（畜産草地研究所）

3. 討論

小集会1

「日本において永年草地による草地酪農の確立は可能か？ - 45年無更新草地に立脚した営農実践と暮らしの事例から - 」

日時：4月2日（水）、15:00 - 17:00

場所：B会場（東館2階 日向）

企画者：佐々木章晴（北海道当別高等学校）・三友盛行（酪農適塾）・

小路 敦（北海道農業研究センター）・瀬尾哲也（帯広畜産大学）・

藤本秀明（雪印種苗）・新畑由香（北海道教育大学）

日本では、造成・更新から数十年以上経過した永年草地の存在例が少ない上に、永年草地で営農・暮らしを実現できている例は数少ない。そこで、45年間無更新の草地で営農・暮らしを長年実現してきた三友農場の実践と実態を紹介するとと

もに、営農哲学や営農実践と永年草地の維持との関わり、そしてこれらの科学的背景を探求することを、小集会開催の目的とする。

1. はじめに・三友農場の歴史と現代的意味
営農の基本哲学・永年草地に生かされる牛飼いと暮らし
三友盛行（酪農適塾）
2. 永年草地に立脚した営農実践における乳牛の状況と若干の物質収支
藤本秀明・谷 友和（雪印種苗）
3. 永年草地における放牧期の乳牛行動の実態
瀬尾哲也（帯広畜産大学）・渡邊也恭（北海道農業研究センター）
4. 永年草地を維持する基盤としての土壌層位・物理的特性
小路 敦・渡邊也恭（北海道農業研究センター）・
高嶋幸男（北海道教育大学）
5. 永年草地成立に向けた草地管理条件の仮説
佐々木章晴・羽生拓斗（北海道当別高等学校）
6. 酪農適塾による永年草地に立脚した新たな酪農の可能性
- 月1回の酪農適塾による若い世代に伝える酪農経営観、技術 -
高嶋幸男・奥山 洵・新畑由香（北海道教育大学）・
瀬尾哲也（帯広畜産大学）
7. 「永年草地」を日本に確立するために - 草地研究者に期待すること -
三友盛行（酪農適塾）

小集会 2

「放射性セシウム汚染の現状と低減化に向けた取り組み」

日時：4月2日（水）、10:00 - 12:00

場所：C会場（東館2階 紅）

企画者：築城幹典（岩手大学）・梅村恭子（畜産草地研究所）

東京電力福島第一原子力発電所事故による放射能汚染により、放射性セシウム降下の影響が大きい地域で牧草が暫定許容値を超過し、牧草の利用自粛に追い込まれた。原発周辺の警戒区域では、取り

残された家畜の問題が大きく取り上げられている。現在、草地の利用再開に向けて除染が進められているが、除染後の牧草が再度暫定許容値を超過する例がみられるなどの問題が生じている。また、傾斜地や表土の薄い草地では除染作業が行えず、利用再開のめどすら立たないところも見られる。こうした草地では、利用自粛のため雑灌木が侵入し、草地としての利用再開が困難になることが予測され、生産のみならず生物多様性、景観などにも影響を及ぼすことが考えられる。本小集会では、こうした放射能汚染地域の草地畜産の現状を報告していただくとともに、今後の研究課題などについて議論する。

1. 警戒区域内のウシと放牧地のその後

佐藤衆介（東北大学）

2. 東北大学川渡フィールドセンターにおける草地の放射能汚染および更新の状況

小倉振一郎・齋藤雅典（東北大学）

3. 永年草地における放射性セシウムの低減化技術と課題

梅村恭子・秋山典昭（畜産草地研究所）

口頭発表プログラム 4月1日			
A会場 (東館3階 翠耀)			
時間	座長	シニア発表	
8:30	雑賀優	S01	”草に学ぶ No.3” ~南の草、出会い、別れ、そして再会~ ○上久保順一郎(南国市里改田)
8:45		S02	神津牧場における搾乳牛の放牧、牛乳・乳製品のブランド化 ○鈴木慎二郎(神津デイリー株式会社)
9:00		S03	”2010年 口蹄疫” ~大学にいて考えたこと~ ○川村 修(元 宮崎大学農学部)
9:15		S04	牧草と無機栄養：牧草の元素コントロール機能 ○正岡淑邦(横田工業商会・広島大学)
9:30		S05	農場体験学習による知的障害児童の発達の支援 今井明夫(新潟県立大学・今井農園)
9:45	正岡淑邦	S06	反芻家畜における濃厚飼料多給与の研究から始まった粗飼料の機能とメタン放出量の抑制に関する研究 ○高橋敏能(山形大学農学部客員教授)
10:00		S07	日本シバ育種の現況と課題 ○福岡壽夫(熊本市龍田町弓削)
10:15		S08	マクロから見た、乳を生産する産業としての酪農 ○宮脇 豊(サージミヤワキ株式会社)

口頭発表プログラム 4月1日			
A会場 (東館3階 翠耀)			
時間	座長	優秀若手発表賞発表	
10:45	堤道生	Y01	大規模草地における精密放牧システムの構築(17)傾斜放牧地における牛の排糞場所の予測 吉利怜奈 ¹ ・渡辺也恭 ² ・川村健介 ¹ ・林志炫 ¹ ・坂上清一 ² ・安田泰輔 ³ (¹ 広島大・ ² 北農研・ ³ 山梨県環境科学研)
11:00		Y02	Developing a simple visible and near-infrared (V-NIR) camera system for monitoring aboveground biomass in an Italian ryegrass field Fan Xinyan ¹ ・Kensuke Kawamura ¹ ・Jihyun Lim ¹ ・Rena Yoshitoshi ¹ ・Norio Yuba ² ・Hyo-Jin Lee ³ ・Yuzo Kurokawa ⁴ (¹ 広島大院・ ² 広島県立総合技術研究所・ ³ Sungkyunkwan University・ ⁴ 広島大)
11:15		Y03	ヒツジにおけるササの反芻胃内消化動態 土井和也・田中寛也・八代田真人(岐阜大)
11:30	加藤直樹	Y04	アメリカにおける日米飼料作物品種の採種コストに関する調査 川口 優・加藤信夫・土方浩嗣(家畜改良センター茨城牧場長野支場)
11:45		Y05	飼料用トウモロコシにおける根腐病抵抗性の評価方法 三ツ橋昇平 ¹ ・黄川田智洋 ² ・増中 章 ¹ ・菅原幸哉 ³ ・玉置宏之 ¹ ・月星隆雄 ¹ ・佐藤尚 ¹ (¹ 畜草研・ ² 北農研・ ³ 東北農研)

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分(一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒)です(時間厳守)。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 4月1日

B会場 (東館2階 日向)				C会場 (東館2階 紅)			
時間	座長	1. 草地生態・システム分析・緑地環境		時間	座長	2. 造成・管理・栽培	
8:30	川村健介	101	種数の頻度分布モデル 陳 俊 ¹ ・Norbert Gaborcik ² ・塩見正衛 ³ ・安田泰輔 ⁴ (¹ 西北農林科技大・ ² Banska Bystrica・ ³ 放送大・ ⁴ 山梨環境科学研)	8:30	黒川勇三	201	イタリアンライグラス, エンバクおよびオオムギの冬作栽培における耐湿性の比較 加藤直樹・服部育男・清村 康・桂 真昭・小林良次(九冲農研)
8:45		102	植生調査(空間分布編): 頻度・被度・個体数・バイオマス・種数・種構成 塩見正衛 ¹ ・陳 俊 ² ・安田泰輔 ³ ・山村靖夫 ⁴ ・堀 良通 ⁵ (¹ 放送大・ ² 西北農林科技大・ ³ 山梨県環境科学研・ ⁴ 茨城大・ ⁵ 茨城大・名誉教)	8:45		202	収量とマメ科率を確保できる寒地の混播草地における播種晩限 奥村健治・高田寛之・廣井清貞(北農研)
9:00		103	ポアソン二項分布を用いた環境傾度に対する種数と種構成の解析 安田泰輔 ¹ ・中野隆志 ¹ ・工藤彰斗 ² ・塩見正衛 ² ・堀 良通 ² (¹ 山梨県環境科学研・ ² 茨城大)	9:00		203	数種暖地型マメ科牧草の生育ならびにアーパスキュラー菌根菌による菌根形成および根粒菌による根粒形成 三牧成生・飛佐 学・平田昌彦(宮崎大)
9:15	山田敏彦	104	ススキとオギの推定自生雑種間に見出された表現型変異 上床修弘 ¹ ・山下 浩 ¹ ・田村健一 ² ・小路 敦 ² ・眞田康治 ² ・奥村健治 ² ・我有 満 ¹ (¹ 九冲農研・ ² 北農研)	9:15	住田憲俊	204	飼料用トウモロコシに対する千鳥播栽培が収量に及ぼす影響 千歳市における実規模試験 義平大樹 ¹ ・小阪進一 ¹ ・大塚博志 ² ・高陽憲基 ³ ・照井英樹 ⁴ (¹ 酪農大・ ² ホクレン・ ³ 千歳地域メノナイトディリーファーム・ ⁴ IDEC)
9:30		105	熊本県阿蘇地域における推定ススキ-オギ雑種自生株の発見 小路 敦 ¹ ・山下 浩 ² ・田村健一 ¹ ・上床修弘 ² ・我有 満 ² ・眞田康治 ¹ ・奥村健治 ¹ (¹ 北農研・ ² 九冲農研)	9:30		205	飼料用トウモロコシに対する千鳥播栽培が収量に及ぼす影響 振幅距離が増収効果に及ぼす影響 義平大樹・吉田将大・小阪進一(酪農大)
9:45		106	鹿児島県麓川流域の推定ススキ-オギ雑種の大規模自生集団 田村健一 ¹ ・上床修弘 ² ・山下 浩 ² ・小路 敦 ¹ ・我有 満 ² ・眞田康治 ¹ ・奥村健治 ¹ (¹ 北農研・ ² 九冲農研)	9:45		206	寒地型牧草の肥料木・庇陰樹としてのネムノキの特性評価・樹冠内の光環境と土壌環境 福田栄紀(東北農研)
10:00	中神弘詞	107	都井岬放牧地に分布する矮性コマツナギの高いクローン繁殖能 西脇亜也・井上万希(宮崎大)	10:00	平野清	207	寒地型牧草の肥料木・庇陰樹としてのネムノキの特性評価・トールフェスクとチモシーの樹冠内外における生育特性の差違 福田栄紀(東北農研)
10:15		108	ハイパースペクトルデータから草量と草質の推定に有効な広域2バンドの組み合わせを探索するMW-NDSIの開発 川村健介 ¹ ・林 志炫 ¹ ・吉利怜奈 ¹ ・渡辺也恭 ² ・黒川勇三 ¹ ・安田泰輔 ⁴ (¹ 広島大・ ² 北農研・ ³ 山梨環境研)	10:15		208	チカラシバの出穂は刈払い適期の目安になる-チカラシバ茎内における穂の伸長調査 北川美弥 ¹ ・野澤智浩 ² ・落合健吾 ² (¹ 畜草研・ ² 秩父高原牧場)

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分(一鈴:10分、二鈴:12分、三鈴:14分30秒)です(時間厳守)。
また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 4月1日

D会場 (東館2階 初雁)				E会場 (東館2階 大虹)			
時間	座長	4. 飼料調製加工・貯蔵・利用		時間	座長	5. 生理・形態・病理・昆虫	
8:30	深川 聡	401	有機イグサの機能性と豚補助飼料としての活用に関する研究 仲川侑希 ¹ ・安田 伸 ¹ ・永井竜児 ¹ ・小池晶子 ² ・岡本智伸 ¹ ・淵上国弘 ³ ・松窪敬介 ³ ・井越敬司 ¹ ・小野政輝 ¹ ・栂田聖孝 ¹ (¹ 東海大・ ² 秋田県立大・ ³ 熊本農研セ)	8:30	眞田 康治	501	ソルガムの成葉葉P遺伝子のマップベースクローニング 川東広幸 ¹ ・春日重光 ² ・米丸淳一 ¹ ・安藤 露 ¹ ・金森裕之 ¹ ・呉 健忠 ¹ ・水野浩志 ¹ ・門間 充 ¹ ・藤本 瑞 ¹ ・松本 隆 ¹ (¹ 生物資源研・ ² 信州大)
8:45		402	栽培方法の異なる稲わらサイレージの飼料成分と栄養価 関 誠・小橋有里・平尾賢一・高橋英太 (新潟農総研畜研)	8:45		502	イタリアンライグラスの採種栽培における植物共生糸状菌Neotyphodium occultansの種子伝染率の変動 荒川 明 ¹ ・菅原幸哉 ² ・吉田信代 ³ ・森本信生 ³ ・増中 章 ³ ・沖村昌彦 ⁴ ・藤澤 保 ⁵ ・山時丈昌 ⁴ ・久保田明人 ² ・藤森雅博 ² ・柴 卓也 ⁶ ・清 多佳子 ³ ・内山和宏 ³ ・水野和彦 ³ (¹ 九冲農研・ ² 東北農研・ ³ 畜草研・ ⁴ 家畜改良セ本所・ ⁵ 家畜改良セ奥羽牧場・ ⁶ 中央農研)
9:00	青木 康浩	403	コムギホールクロップサイレージを粗飼料の主体とする発酵TMRの給与が乳生産に及ぼす影響 山本泰也 ¹ ・川村淳也 ² ・石崎雄介 ¹ ・中村雅人 ¹ (¹ 三重畜研・ ² 三重中央農改セ)	9:00	黄川 田智洋	6. 育種	
9:15		404	オオムギサイレージ主体発酵TMRの給与が搾乳牛の乳生産に及ぼす影響 西村慶子 ¹ ・大久津昌治 ² ・川本康博 ² ・中西良孝 ² (¹ 宮崎畜試・ ² 鹿大院連合農)	9:15		601	ソルガム市販品種における乾物生産特性の評価 春日重光 ¹ ・丸山剛広 ¹ ・北原茉依 ¹ ・小山内光輔 ² ・野宮 桂 ² (¹ 信州大・ ² 雪印種苗)
9:30		405	調製条件の異なるスーダン型ソルガム「涼風」が泌乳牛の採食行動に及ぼす影響 小橋有里・平尾賢一 (新潟農総研)	9:30		602	ソルガム類の茎葉関連形質の評価 北原茉依 ¹ ・川東広幸 ² ・米丸淳一 ² ・春日重光 ¹ (¹ 信州大・ ² 生物研)
9:45	河本 英憲	406	稲WCS主体発酵TMRの生乳中ヘキサナール濃度低減効果 小橋有里・関 誠・宮腰雄一 (新潟農総研)	9:45	秋山 征夫	603	畑で、倒伏なく極多収・低硝酸塩の飼料用二条大麦「羽系B0575」 東 政則・立山松男・中原高士・小畑 壽 (宮崎畜試)
10:00		407	静電容量式水分測定器を用いた粗飼料含水率の推定 川出哲生・小島智美・橋 保宏 (生研センター)	10:00		604	第6染色体に座乗するトウモロコシのアントシアニン着色形質QTLの検証と候補遺伝子解析 米丸淳一 ¹ ・三木一嘉 ² ・崔 善熹 ¹ ・清沢敦志 ² ・後藤和美 ² (¹ 生物研・ ² 長野畜試)
10:15		408	好氣的安定性に優れるアルファルファサイレージに見出されたLactobacillus homohiochiiの培養法による分離の試み 呉白乙拉・西野直樹 (岡山大)	10:15		605	イネ科自家不和合性遺伝子座領域の塩基配列解析 掛田克行・橋本 翔・土屋健太 (三重大)
		408	好氣的安定性に優れるアルファルファサイレージに見出されたLactobacillus homohiochiiの培養法による分離の試み 呉白乙拉・西野直樹 (岡山大)			606	Morphological characteristics and Chemical composition of tetraploid ruzigrass (Brachiaria ruziziensis cv. Kennedy) Pattama Nitthaisong ¹ ・Genki Ishigaki ² ・Kiichi Fukuyama ² ・Ryo Akashi ² (¹ 宮崎大院・ ² 宮崎大)

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です（時間厳守）。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 4月1日

B会場 (東館2階 日向)				C会場 (東館2階 紅)			
				時間	座長	2. 造成・管理・栽培	
				14:00	金子 真	209	強酸性黒ボク土壌草地の秋季更新における溶解度の高い土壌改良材の利用 増田泰久 ¹ ・石若礼子 ¹ ・後 孝典 ² ・柿原秀俊 ³ ・中野 豊 ³ (¹ 久住牧博・ ² 豊肥振興局・ ³ 九大)
				14:15		210	草地土壌の交換性アルミニウムがイネ科植生に与える影響 佐々木章晴 (当別高)
				14:30		211	草地土壌の交換性塩基がマメ科植生に与える影響 佐々木章晴 (当別高)

口頭発表プログラム 4月2日

B会場 (東館2階 日向)				C会場 (東館2階 紅)			
時間	座長	1. 草地生態・システム分析・緑地環境		時間	座長	2. 造成・管理・栽培	
13:00	山田 大悟	109	土壌中前植生塊とカリ追肥が牧草放射性セシウム濃度に与える影響 佐藤まり子・尾張利行・山形広輔・藤原哲雄 (1岩手畜研)	13:00	北川 美弥	212	寒地型牧草地へのイタリアンライグラスの簡易導入に向けた条件 小路 敦 (北農研)
13:15		110	草地における空間放射線量率分布の特徴 築城幹典 ¹ ・江口沙綾 ¹ ・齊藤 優 ¹ ・飯田健司 ¹ ・榎村恭子 ² ・前田武己 ¹ (¹ 岩手大・ ² 畜草研)	13:15		213	北海道根釧地域における採草地維持管理時の草種構成悪化要因 1. 根釧地域における採草地の草種構成実態 中村直樹・林 拓・牧野 司・三枝俊哉 (根釧農試)
13:30		111	草地植生中放射性セシウム濃度の空間分布と年次変化 築城幹典・江口沙綾・飯田健司・齊藤 優・前田武己 (岩手大)	13:30		214	草種と轍の組合せが更新翌年の植生に及ぼす影響 吉川恵哉 ¹ ・岡 一義 ¹ ・岡元英樹 ² (¹ 北海道農政部天北支場駐在・ ² 道総研天北支場)
13:45	築城 幹典	112	農耕発破による急傾斜汚染草地の耕起作業 天羽弘一 ¹ ・伊吹俊彦 ¹ ・中村聡磯 ² ・忒沢俊雄 ² ・田中雅規 ² ・阿部佳之 ¹ ・小島陽一郎 ¹ ・井上秀彦 ¹ ・山本嘉人 ¹ ・中尾誠司 ¹ ・塩谷 繁 ¹ (¹ 畜草研・ ² カヤクジャパン)	13:45	岡元 英樹	215	オーチャードグラスを用いた簡易更新による植生改善効果の検証 道場和也・安達美江子 (ホクレン畜産技術実証センター)
14:00		113	放射性セシウム汚染サイレージの圃場還元と飼料作物中の放射性セシウム濃度 天羽弘一・阿部佳之・小島陽一郎 (畜草研)	14:00		216	荒廃牧草地へのペレニアルライグラス(Lolium perenne L.)等の追播が植生と放牧牛の日増体量に及ぼす改善効果 平野 清・進藤和政・井出保行・山本嘉人 (畜草研)
14:15	塚田 英晴	114	ウシの放牧による植生構造の変化がハタネズミの採餌行動に及ぼす要因 岡田美耶・吉原 佑・佐藤衆介 (東北大院)				
14:30		115	ハタネズミの採餌行動における捕食リスクとエサの質のトレードオフの検証 岡田美耶・吉原 佑・佐藤衆介 (東北大院)				

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です（時間厳守）。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 4月1日

D会場 (東館2階 初雁)				E会場 (東館2階 大虹)			
時間	座長	3. 放牧・家畜管理・行動					
14:00	上田宏一郎	301	黒毛和種子牛の放牧育成(2)放牧子牛へのセロオリゴ糖給与効果 木戸恭子・手島茂樹・櫛引史郎(畜草研)				
14:15		302	ホルスタイン種雌牛の若齢放牧育成における補助飼料給与量 進藤和政・梅村恭子・秋山典昭・平野 清・井出保行・的場和弘(畜草研)				
14:30		303	Effects of early experience with low-quality roughage diets on feed intake and digestion in sheep WenBin Xu・Yuya Taki・Masato Yayota(岐阜連農)				

口頭発表プログラム 4月2日

D会場 (東館2階 初雁)				E会場 (東館2階 大虹)			
時間	座長	3. 放牧・家畜管理・行動		時間	座長	6. 育種	
13:00	東山雅一	304	省力管理条件における放牧草地の基幹草種の違いが牧草や家畜の生産性に及ぼす影響(4)ベレニアルライグラス主体草地とケンタッキーブルーグラス主体草地の比較 2年間のまとめ 八木隆徳(北農研)	13:00	高原学	607	ススキとオギのDNA量の変異から推定された種間雑種形成 Marhamah Nadir ¹ ・田中有理佐 ¹ ・西脇亜也 ¹ ・山田敏彦 ² ・Ryan Stewart ³ (¹ 宮崎大・ ² 北大・ ³ Brigham Young大)
13:15		305	放牧牛の食草移動行動シミュレーションモデルによる放牧期を通じた草地の空間的不均一性動態予測 多田慎吾・三谷朋弘・上田宏一郎・近藤誠司(北大院)	13:15		608	チモシー-CSS系統の遺伝子型×場所交互作用の解析 田中常喜 ¹ ・田瀬和浩 ² ・安達美江子 ³ ・足利和紀 ¹ ・藤井弘毅 ¹ (¹ 北見農試・ ² 北農研・ ³ ホクレン)
13:30	手島茂樹	306	牛の背中と尾に装着した加速度計データの利用によるふん尿排泄行動の把握 渡辺也恭 ¹ ・坂上清一 ¹ ・川村健介 ² ・吉利怜奈 ² (¹ 北農研・ ² 広島大)	13:30		609	二倍体ルジグラスと四倍体シグナルグラスとの種間交雑ならびに戻し交雑により作出された後代F2集団における種子繁殖特性 石垣元気 ¹ ・末永一博 ² ・田川義宗 ¹ ・明石 良 ¹ (¹ 宮崎大・ ² JIRCAS)
13:45		307	褐毛和種去勢牛の周年放牧肥育のライフサイクルアセスメント 堤 道生 ¹ ・中村好徳 ² ・金子 真 ² ・林 義朗 ² ・荅 博行 ² ・山田明央 ² ・小林良次 ² (¹ 近中四農研・ ² 九沖農研)	13:45	高井智之	610	DNAマーカーを利用したエンドファイト感染フェストロリウム系統の育成 久保田明人 ¹ ・藤森雅博 ¹ ・田村健一 ² ・秋山征夫 ¹ (¹ 東北研・ ² 北農研)
14:00	梅村恭子	308	放牧前の反芻胃内容物量および絶食が乳牛の食草量に及ぼす影響 上田宏一郎 ¹ ・小野淳也 ² ・三谷朋弘 ¹ ・近藤誠司 ¹ (¹ 北大院農・ ² JA全農飼料畜産中央研究所)	14:00		611	オーチャードグラス高糖含量系統の生育特性 1. 利用2、3年目の特性 眞田康治 ¹ ・谷津英樹 ² ・横山 寛 ² ・高山光男 ² ・田村健一 ¹ ・田瀬和浩 ¹ (¹ 北農研・ ² 雪印種苗)
14:15		309	連続放牧を活用した乳牛飼養技術の開発 1. 春季の搾乳牛放牧試験と現地調査の結果 須藤賢司・上田靖子・朝隈貞樹・八木隆徳・渡辺也恭・安藤 哲・杉戸克裕(北農研)				
14:30		310	放牧下でのパヒアグラス品種ナンオウ及びペンサコラ草地の植生と牛の行動の比較 小田原峻吾 ¹ ・河喜多洋平 ¹ ・宮内美香 ¹ ・神谷豪 ¹ ・金子 真 ² ・山田明央 ² ・小林良次 ² ・長谷川信美 ¹ (¹ 宮崎大 ¹ ・ ² 九沖農研)				

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分(一鈴:10分、二鈴:12分、三鈴:14分30秒)です(時間厳守)。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

ポスター発表（東館3階 ロビー）

偶数番号コアタイム：4月1日 13:00～14:00、奇数番号コアタイム：4月2日 9:00～10:00

1. 草地生態・システム分析・緑地環境

P01	東北ススキ草地の人為処理条件下における植生動態：30年間の変化 小倉振一郎 ¹ ・板野志郎 ² ・進藤和政 ³ ・平野 清 ³ ・山本嘉人 ³ （ ¹ 東北大・ ² 新潟大・ ³ 畜草研）
P02	半自然草地におけるメリケンカルカヤの侵入と植生動態 板野志郎 ² ・進藤和政 ¹ ・平野 清 ¹ ・中尾誠司 ¹ （ ¹ 畜草研・ ² 新潟大）
P03	草原群落における局所スケール動態のモデリング 安田泰輔（山梨県環境科学研究所）
P04	ミッドレンジを用いた平均草高の簡易推定 中神弘詞（畜草研）
P05	シバ草地におけるブタナの生態と抑制に関する研究 第3報 放牧地におけるブタナ消失の要因について 鈴木 翔 ¹ ・杉浦俊弘 ² ・木村詩織 ² ・石黒 桃 ² ・馬場光久 ² （ ¹ 北里大院・ ² 北里大）
P06	高解像度空中撮影画像を用いた飼料畑のモニタリング（1）- UAVによる精密リモートセンシングシステムの開発 - 嶋田 浩 ¹ ・永吉武志 ¹ ・田中勝千 ² ・皆川秀夫 ² ・中坪あゆみ ² （ ¹ 秋田県大・ ² 北里大）
P07	高解像度空中撮影画像を用いた飼料畑のモニタリング（2）- UAVによる採草地における冠さび病の把握 - 中坪あゆみ ¹ ・田中勝千 ¹ ・嶋田 浩 ² ・永吉武志 ² ・杉浦俊弘 ¹ （ ¹ 北里大・ ² 秋田県大）

2. 造成・管理・栽培

P08	東北大学川渡フィールドセンター山地放牧地における植物体地上部の放射能汚染 小倉振一郎・齋藤雅典（東北大）
P09	オオムギ同伴栽培による増収効果と適正播種量の検討 安達美江子・道場和也（ホクレン畜技セ）
P10	ライムギと飼料用トウモロコシ二毛作体系における不耕起栽培トウモロコシの播種適期と適正窒素施肥量 伊藤孝浩 ¹ ・尾張利行 ¹ ・佐藤まり子 ¹ ・山形広輔 ¹ ・多田和幸 ² ・魚住 順 ³ （ ¹ 岩手畜研・ ² 奥州普及センター・ ³ 東北農研）
P11	永年草地における牧草中放射性セシウム濃度の事故後3年間の変化 秋山典昭・渋谷 岳・平野 清・進藤和政・梶村恭子・山本嘉人（畜草研）
P12	異なる土壌条件における早春の追肥窒素量がイタリアンライグラスの収量と養分含有率に及ぼす影響 黒川勇三・川村健介・積山嘉昌（広島大）
P13	沖縄県八重山諸島のコーラル地帯における放牧草地の再整備工法の検討 細川吉晴（宮崎大）
P14	イタリアンライグラス収穫跡に飼料用トウモロコシを簡易耕うんまたは不耕起条件で播種する作業体系 住田憲俊（畜草研）
P15	ソルトブッシュの羊放牧地における牧草としての有用性 大竹秀男・阿部沙也加（宮城大）

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターは4月2日の12:00から13:00の間に撤去してください。13:00以降に掲示されているポスターは
大会事務局で処分します。

ポスター発表（東館3階 ロビー）

偶数番号コアタイム：4月1日 13:00～14:00、奇数番号コアタイム：4月2日 9:00～10:00

2. 造成・管理・栽培

P16	土壌からの放射性セシウム移行係数の草種間差 井出保行・梅村恭子・渋谷 岳・平野 清・進藤和政・山本嘉人（畜草研）
P17	ソルガム新品種‘涼風’及び新系統‘東山交30号’の2回刈り栽培に必要な有効積算温度 菅野 勉 ¹ ・森田聡一郎 ¹ ・後藤和美 ² ・浅井貴之 ² ・横澤将美 ³ ・平尾賢一 ⁴ ・本谷 直 ⁵ ・折原健太郎 ⁶ （ ¹ 畜草研・ ² 長野畜試・ ³ 群馬畜試・ ⁴ 新潟畜研セ・ ⁵ 茨城畜産セ・ ⁶ 神奈川畜技所）
P18	アーバスキュラー菌根菌の接種およびリンの施用が単播あるいは混播されたセタリアおよびグリーンリーフデスマediumの成長に及ぼす影響 飛佐 学・川上卓也・平田昌彦（宮崎大）
P19	大規模草地におけるトラクタGPSを活用した牧草反転作業精度の向上 増田隆晴・佐々木正俊・熊谷光洋（岩手県農研セ畜産研究所）
P20	大規模草地におけるトラクタGPSを活用した肥料散布精度の向上 増田隆晴・佐々木正俊・熊谷光洋（岩手県農研セ畜産研究所）
P21	オーチャードグラスとトールフェスクにおける放射性セシウム移行の比較（2012～2013） 梅村恭子・内山和宏・秋山典昭・井出保行・渋谷 岳（畜草研）
P22	カリウム過剰黒ボク草地土壌におけるマグネシウム施用試験 吉田智佳子 ¹ ・竹内 巽 ² ・石田正晴 ² ・西川孝一 ¹ ・渡邊三雄 ¹ （ ¹ 新潟大FC・ ² 新潟大）

3. 放牧・家畜管理・行動

P23	放牧草地の草量と可消化養分総量に及ぼす草種と施肥量の影響（利用2年目） 東山雅一（東北農研）
P24	放牧草地の家畜生産に及ぼす草種と施肥量の影響（利用2年目） 東山雅一（東北農研）
P25	放牧経験が黒毛和種育成牛の採食行動に及ぼす影響 八代田真人・藤森 唯・伊藤友紀・大谷 滋（岐阜大）
P26	生草給与前のウシルーメン液への尿素、キシロース投与が生草給与開始後の細菌叢の変化に及ぼす影響-ルシテックを用いた検討- 中野美和・芳賀 聡・遠野雅徳・田島 清・石崎 宏（畜草研）
P27	林内放牧における野草ならびに放牧牛の放射性セシウム汚染の実態 佐藤衆介・田中繁史（東北大）
P28	育成1年目飼養法の違いが育成2年目放牧時の発育に及ぼす影響 秋山典昭・梅村恭子・進藤和政・中野美和・的場和弘（畜草研）
P29	青海チベット高原野草放牧地におけるヤクとヒツジの行動の比較 李 暁琴 ¹ ・宋 仁徳 ² ・李 国梅 ³ ・西脇亜也 ¹ ・長谷川信美 ¹ （ ¹ 宮崎大・ ² 玉樹ヤク総合試験場・ ³ 玉樹草地センター）
P30	放牧地における牛の行動および生理状態の季節変動 宮内美香 ¹ ・小田原峻吾 ¹ ・神谷 豪 ¹ ・長谷川信美 ¹ ・金子 真 ² ・山田明央 ² ・小林良次 ² （ ¹ 宮崎大・ ² 九沖農研）
P31	携帯型GPSロガーとバッテリーを利用した簡易GPS首輪の作成 渡辺也恭・須藤賢司（北農研）

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターは4月2日の12:00から13:00の間に撤去してください。13:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。

ポスター発表（東館3階 ロビー）

偶数番号コアタイム：4月1日 13:00～14:00、奇数番号コアタイム：4月2日 9:00～10:00

3. 放牧・家畜管理・行動

P32	放牧牛の血漿中ミネラル成分およびミネラル摂取行動の季節変動 小田原峻吾 ¹ ・金子真 ² ・宮内美香 ¹ ・神谷豪 ¹ ・長谷川信美 ² ・小林良次 ¹ （ ¹ 宮崎大・ ² 九冲農研）
P33	夏季パリセードグラス放牧地における放牧肥育牛の採食量と牧草現存量の関係 金子真・中村好徳・小林良次・山田明央・林義朗（九冲農研）
P34	モンゴル国の森林ステップならびにステップ地域の野草中の草種別アルカン組成 上原有恒 ¹ ・エルデネチムゲアユシュ ² ・オノントールガンバートル ² ・山崎正史 ¹ （ ¹ 国際農研・ ² モンゴル農大）
P35	黒毛和種子牛の放牧育成（1）放牧開始月齢と補助飼料給与量の影響 手島茂樹・木戸恭子（畜草研）
P36	シバ草地に放牧した牛の糞、尿、肉中の放射性セシウム 梶村恭子 ¹ ・秋山典昭 ¹ ・平野清 ¹ ・山田大吾 ¹ ・井出保行 ¹ ・渋谷岳 ¹ ・築城幹典 ² （ ¹ 畜草研・ ² 岩手大）

4. 飼料調製加工・貯蔵・利用

P37	ハイガスバリア性樹脂を用いた試作ラップフィルムの性能 野中和久・松尾守展（畜草研）
P38	暖地型イネ科牧草ディジットグラス品種「プレミア」における乾草の嗜好性および放牧適性 深川聡 ¹ ・小笠原俊介 ² ・溝口泰正 ³ ・石井康之 ⁴ （ ¹ 長崎農技セ・ ² 県北振興局・ ³ 島原振興局・ ⁴ 宮崎大）
P39	サイレージ調製および乾燥調製した飼料用米の第一胃内分解特性 井上秀彦・宮地慎・松尾守展・遠野雅徳・浦川修司・伊吹俊彦（畜草研）
P40	近赤外分光法によるソルガム中シアン含量の測定 篠田英史 ¹ ・今井裕理子 ² ・川本康博 ² （ ¹ 雪印種苗・ ² 琉球大）
P41	粗飼料分析における牧草サイレージの評価方法の検討（第5報）- サイレージ抽出液中の揮発性塩基態窒素化合物 - 篠田英史・川越大樹・古川修（雪印種苗）
P42	早刈りペレニアルライグラス（ <i>Lolium perenne</i> L.）主体サイレージの給与による大豆粕節減効果 青木康浩・大下友子・上田靖子・青木真理（北農研）
P43	飼料イネサイレージへの「畜草1号」および <i>Lc. lactis</i> SBS0001株の添加効果 北村亨 ¹ ・本間満 ¹ ・河本英憲 ² ・浦川修司 ³ ・松尾守展 ³ ・宮川創 ⁴ ・手島信貴 ⁴ （ ¹ 雪印種苗・ ² 東北農研・ ³ 畜草研・ ⁴ 福岡県農総試）
P44	ハーベスタ装着型風選別装置による大豆WCSの収穫期の拡大 河本英憲・嶋野英子・内野宙・魚住順（東北農研）
P45	フレコンバックを利用した高品質エアコーンの調製作業体系 根本英子 ¹ ・大下友子 ¹ ・青木康浩 ¹ ・上田靖子 ¹ ・中村道長 ² ・滑川拓朗 ² （ ¹ 北農研・ ² 十勝牧場）

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターは4月2日の12:00から13:00の間に撤去してください。13:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。

ポスター発表（東館3階 ロビー）

偶数番号コアタイム：4月1日 13:00～14:00、奇数番号コアタイム：4月2日 9:00～10:00

5. 生理・形態・病理・昆虫

P46	トウモロコシすす紋病防除圃場における赤かび病罹病程度 出口健三郎 ¹ ・湊 啓子 ¹ ・飯田憲司 ¹ ・角谷芳樹 ¹ ・高橋健太郎 ² ・平田明靖 ² （ ¹ 道総研畜試・ ² シンジェンタジャパン）
P47	経年草地におけるマメ科牧草ガレガのシュートの生活史 藤井弘毅（北見農試）
P48	包葉および子実の損傷が飼料用トウモロコシのフモニシン汚染に与える影響 岡部郁子 ¹ ・三木一嘉 ² ・増中 章 ¹ ・月星隆雄 ¹ （ ¹ 畜草研・ ² 長野畜試）
P49	トウモロコシフザリウム茎腐病の発生と幼苗での抵抗性差異 月星隆雄・岡部郁子・増中 章（畜草研）
P50	トウモロコシ根腐病菌に対し有効な抵抗性シグナル伝達経路 増中 章・岡部郁子・月星隆雄（畜草研）
P51	<i>Fusarium graminearum</i> を接種した飼料用トウモロコシ雌穂の赤かび病徴およびデオキシニバレノール濃度の推移 飯田憲司 ¹ ・湊 啓子 ¹ ・山川政明 ² （ ¹ 道総研畜試・ ² 元道総研畜試）

6. 育種

P52	アルファルファ新系統「北海5, 6号」の播種4年目の特性 廣井清貞・奥村健治（北農研）
P53	新規ペレニアルライグラス系統の盛岡での生産力検定 藤森雅博・秋山征夫・久保田明人（東北農研）
P54	トウモロコシ赤かび病接種検定における発病度の年次安定性および自殖系統とF1との関係 黄川田智洋・濃沼圭一・伊東栄作（北農研）
P55	イタリアンライグラスの冠さび病抵抗性遺伝子をホモで持つ系統間での単交配後代にみられる雑種強勢 清 多佳子 ¹ ・荒川 明 ² ・内山和宏 ¹ ・杉田紳一 ³ ・水野和彦 ¹ （ ¹ 畜草研・ ² 九沖農研・ ³ 種子協会）
P56	イネSWN2キメラリプレッサー導入によるトールフェスク二次細胞壁形成の制御 佐藤広子 ¹ ・光田展隆 ² ・高木 優 ³ ・高溝 正 ¹ （ ¹ 畜草研・ ² 産総研・ ³ 埼玉大）
P57	ソルガムの極晩生遺伝資源を利用した極晩生F1雑種の育成 高井智之 ¹ ・小柴太一 ² ・佐々木敦司 ² ・徳永 毅 ² ・上床修弘 ¹ ・山下 浩 ¹ ・我有 満 ¹ ・桂 真昭 ¹ ・波多野哲也 ¹ （ ¹ 九沖農研・ ² アースノート）
P58	ススキ属自生系統における出穂特性の地域間変動 眞田康治 ¹ ・藤森雅博 ² ・小林 真 ³ ・山下 浩 ⁴ ・上床修弘 ⁴ ・小路 敦 ¹ ・田村健一 ¹ ・奥村健治 ¹ ・山田敏彦 ⁵ （ ¹ 北農研・ ² 東北農研・ ³ 畜草研・ ⁴ 九沖農研・ ⁵ 北大FSC）
P59	ギニアグラスとチカラシバ属アボミクス植物におけるapospory-specific genomic region (ASGR)の相似性 秋山征夫 ¹ ・山田-秋山仁美 ² ・Joann A. Conner ³ ・Wayne W. Hanna ³ ・Peggy Ozias-Akins ³ ・蝦名真澄 ⁴ （ ¹ 東北農研・ ² 岩大・ ³ UGA・ ⁴ 畜草研）
P60	ネピアグラスにおける遺伝子組換え技術の確立 権藤崇裕 ¹ ・Umami Nafiatul ² ・石垣元気 ³ ・明石 良 ³ （ ¹ 宮崎大フロンティア・ ² ガジャマダ大・ ³ 宮崎大）

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターは4月2日の12:00から13:00の間に撤去してください。13:00以降に掲示されているポスターは
大会事務局で処分します。

ポスター発表（東館3階 ロビー）

偶数番号コアタイム：4月1日 13:00～14:00、奇数番号コアタイム：4月2日 9:00～10:00

6. 育種

P61	イタリアンライグラスの細胞質を用いた新規雄性不稔トールフェスク系統の採種関連形質 荒川 明 ¹ ・藤森雅博 ² ・土方浩嗣 ³ ・伴苗行弘 ³ ・丸山真澄 ⁴ ・梶原美紀 ⁵ ・立花 正 ⁶ ・内山和宏 ⁷ ・清 多佳子 ⁷ ・水野和彦 ⁷ （ ¹ 九冲農研・ ² 東北農研・ ³ 家畜改良セ・ ⁴ 退職・ ⁵ 農林水産省・ ⁶ 雪印種苗・ ⁷ 畜草研）
P62	ススキジーンバンク系統におけるカルスからの植物体再生 高橋 亘・霍田真一・高溝 正・小林 真（畜草研）
P63	飼料作物・バイオマス資源作物のALS遺伝子を標的としたTALENの構築 高原 学・高橋 亘・佐藤広子・高溝 正（畜草研）
P64	重イオンビーム照射によるアポミクシス欠失変異体の欠失領域 高原 学 ¹ ・蝦名真澄 ¹ ・森田竜平 ² ・風間裕介 ³ ・阿部知子 ² ・高溝 正 ¹ ・中川 仁 ⁴ （ ¹ 畜草研・ ² 理研・仁科・ ³ 理研・イノベーション・ ⁴ 国際農研）
P65	ススキ・オギ種間雑種同定のためのDNAマーカー 田村健一 ¹ ・眞田康治 ¹ ・小路 敦 ¹ ・奥村健治 ¹ ・Kossonou Guillaume Anzoua ² ・Erik J. Sacks ³ ・山田敏彦 ² （ ¹ 北農研・ ² 北大・ ³ University of Illinois at Urbana-Champaign）
P66	4倍体ミヤコグサとパーズフットトレフォイル由来スーパールートの交雑F2集団における諸特性 潮 竜馬 ¹ ・橋口正嗣 ² ・明石 良 ² （ ¹ 宮崎大院・ ² 宮崎大）

7. 土壌・肥料

P67	草地土壌の脱窒酵素活性の季節変化 森 昭憲（畜草研）
P68	磁性鉄含量を指標とした飼料中の土壌混入量の推定法 - 倒伏と地際刈り収穫が放射性セシウム濃度に及ぼす影響 - 須永義人・原田久富美（畜草研）
P69	放牧草地の養分の空間分布に応じた被覆尿素利用による施肥改良 山田大吾・手島茂樹・木戸恭子・北川美弥（畜草研）
P70	チモシー晩生品種における1番草刈取後の利用形態と施肥が牧草生産と植生に及ぼす影響 岡元英樹 ¹ ・古館明洋 ² （ ¹ 道総研天北支場・ ² 道総研中央農試）

8. その他

P71	プロテクトケージ内外の草高差を用いた牧草被害評価法の改良 塚田英晴 ¹ ・喜田環樹 ¹ ・北川美弥 ¹ ・須山哲男 ² ・庄山由美 ² ・清水矩宏 ² （ ¹ 畜草研・ ² 神津牧場）
P72	沖縄県八重山諸島における放牧管理のための牧柵の検証 細川吉晴（宮崎大）
P73	燃焼法を用いた粗飼料の繊維中タンパク質分画および繊維含量の同時測定法の検討 角谷芳樹・出口健三郎・飯田憲司（道総研畜試）

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターは4月2日の12:00から13:00の間に撤去してください。13:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。